

# 11月定例会【総括質問】



## ■長島 強 / 風疹対策について



大流行している風疹の感染予防として、予防接種が有効であるが、成人に対する予防接種の公費助成について行う考えがあるか質問。国では平成31年度に向け、無料の風疹抗体検査の対象者を30代、40代、50代男性にも拡大し、成人の予防接種については、ワクチンの増産体制など環境整備も含め今後検討することになっているので国の動きを注視するとの答弁でした。こうした動きを見据えながら、感染リスクの高い、30代から50代男性に対する抗体検査、予防接種の公費助成実現を要望しました。

## ■加藤 博男 / SDGs、清水港、地域コミュニティについて



SDGsの市内企業への啓発、清水港のポートセールス、地域コミュニティについての3点を質問。市内企業への啓発では、当局より「静岡市版SDGsアワード」を具体化していくとの答弁がありました。ポートセールスでは来年度開通予定の中部横断自動車道を視野に入れ、首都圏へのセールス、農水産物の輸出強化を図る旨の答弁がありました。地域コミュニティについては、自治会への負担軽減として、回覧用の行政文書の削減、市への提出書類のインターネット申請受付を来年度から実施する旨の答弁がありました。

## ■山本 彰彦 / 都市基盤整備について



本年は、大阪府北部地震・西日本豪雨など、相次ぐ自然災害が発生し、国民の日常生活を脅かす事態となりました。自然災害は、過去に発生しなかった地域での地震や大雨、台風上陸、竜巻が起こるなど、いつでも起こり得る可能性が高まっています。総括質問では、高層建築物の長周期地震動対策と民間住宅の耐震対策、一次避難地となる公園整備、河川行政における治水対策、さらに災害に強いみちづくりについて、インフラ整備におけるストック効果を再認識し、「防災・減災」を政策の柱とする対策強化に向け質問いたしました。

## ■山梨 渉 / 教育行政、キャッシュレスについて



不登校問題について質問。特に中学生の不登校増加が深刻で4.54%(全国平均3.25%)であり、教師の指導力向上、再登校しやすいプログラム、適応指導教室の支援等の方針が教育長から示されました。また子どもSNS相談導入を提案。深刻な相談をつなげることが有効なことから、対象者、時期等を検討し、新たに導入を進める答弁がありました。またキャッシュレスについて、市施設のキャッシュレス決済推進をはじめ、インバウンド対策のため官民挙げて推進をするよう要望いたしました。

# 【常任委員会】報告



## ■井上 智仁 【企業消防委員会】 【監査委員】

企業消防委員会に付託となった議案は、職員給与及び賞与改定に伴う補正予算案で、全員異議なく可決するものとなりました。企業局に関しては独立していることもあり、単に市の給与に準ずるだけでなくしっかりと検討を進めること、また消防局に関しては、島田・牧ノ原など2市2町に負担を求める必要があり、十分な連携・説明が必要である事が重要だと考えます。また議会期間中に定期監査のための事前現場視察があり、指定管理で運営されている駿府匠宿および資源循環啓発施設を訪問し運営方法の課題などを洗い出しました。



## ■大石 直樹 【市民環境教育委員会】

市立全小学校の普通教室へのエアコン設置に対する国の補正予算活用について審議されました。この予算を活用して86校1289教室において今年度から来年度にかけてエアコンを設置する予定です。その他、市立小中学校の適合ブロック塀に対する撤去、改修に関する予算も審議されました。また、教育職員の給与と条例一部改定についても審議し、教員の多忙化について具体的な事例を述べ、さらなる創意工夫を要望いたしました。採決の結果、全議案は可決すべきものとして決定されました。

## あなたのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

●公明党控室  
〒420-8602 葵区追手町5-1  
TEL 054-254-2111内線(4533)  
直通TEL・FAX 054-254-2769  
●ホームページ  
www.shizuoka-komei.jp  
●メールアドレス  
komeito-shizuoka@iaa.itkeeper.ne.jp

●山本 彰彦  
〒420-0876  
葵区平和2丁目24-14  
TEL・FAX 054-271-2244  
携帯電話/090-1561-7775

●山梨 渉  
〒424-0204  
清水区興津中町1356-25  
TEL・FAX 054-368-5540  
携帯電話/090-3527-1272

●井上 智仁  
〒422-8072  
駿河区小黒2丁目10-40-304  
TEL・FAX 054-287-2031  
携帯電話/090-4239-7223

●長島 強  
〒420-0961  
葵区北2丁目3-19  
TEL・FAX 054-659-5804  
携帯電話/090-3578-2164

●大石 直樹  
〒424-0928  
清水区緑が丘町21-9  
TEL・FAX 054-335-7012  
携帯電話/090-1725-6633

●加藤 博男  
〒421-0111  
駿河区丸字新田292-20  
TEL・FAX 054-269-6671  
携帯電話/080-8267-2584

KOMEITO SHIZUOKA-CITY

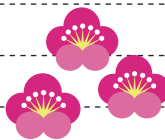
# 公明党静岡市議会だより



【石井啓一国土交通大臣に要望書提出】

平成30年12月5日、公明党静岡市議会として国土交通省へ要望活動を行いました。市民の安心・安全確保の観点から、総合的な「防災・減災」対策強化に向け、平成31年度予算編成にあたり、都市基盤整備における港湾・道路・河川に関する予算確保について要望しました。

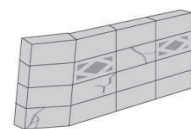
- 総合治水対策特定河川事業の推進(麻機遊水地第2工区)
- 国道150号久能拡幅事業の整備促進
- 清水港津波対策に係る整備促進(外港防波堤・防潮堤)



## 平成30年度11月補正予算 (一般会計59億9,830万円)



- 小中学校校舎エアコン設置事業 (39億3,422万円)  
国の補正予算を活用し、市内すべての小学校の普通教室にエアコンを設置(小学校86校 普通教室1,289教室)
  - 市立こども園エアコン設置事業 (7,927万円)  
国の補正予算を活用し、市立こども園におけるエアコンが設置されていない保育室及び遊戯室にエアコンを設置(市立こども園14園23室)
  - 小中学校ブロック塀撤去等事業(2億7,987万円)  
国の補正予算を活用し、児童生徒の安全に対するより手厚い配慮を行うため、適合ブロック塀を撤去改修(小学校30校、中学校14校)
  - 市立こども園ブロック塀撤去等事業 (201万円)  
国の補正予算を活用し、幼児の安全に対するより手厚い配慮を行うため、適合ブロック塀を撤去改修(市立こども園1園)
  - 道路災害復旧事業 (11億6,776万円)  
台風24号により被災した道路、河川、林道、スポーツ施設、治山施設、農業用施設等の災害復旧事業
- |           |           |               |           |
|-----------|-----------|---------------|-----------|
| ●道路災害復旧事業 | 6億3,500万円 | ●スポーツ施設災害復旧事業 | 1,620万円   |
| ●河川災害復旧事業 | 7,020万円   | ●治山災害復旧事業     | 700万円     |
| ●林道災害復旧事業 | 5,907万円   | ●農業用施設等災害復旧事業 | 3億8,029万円 |



# 「平成31年度予算要望」を提出！



平成30年11月21日、平成31年度予算編成にあたり、公明党静岡市議会の都市デザイン2020「挑む！静岡市～未来の活力創生を見据えて～」をもとに、中長期の視点に立ち、61項目269本の要望を盛り込んだ予算要望書を提出しました。

## ・防災・減災を政策の主流に

迫る南海トラフ地震の脅威や、近年多発し激甚化する豪雨に対し、先進的なモデル都市として、命と生活の安全保障を確実に構築する必要があるため、防災・減災を政策の主流にすべきであることを訴えました。



## ・世界の潮流である「SDGs (持続可能な開発目標)」の実現に向けて

環境や教育など世界各国の課題を解決するために、国連が掲げた2016年から2030年までの世界共通の持続可能な開発目標「SDGs」を、静岡市としても誰一人として取り残さないために2030年のこの目標を確実に達成するよう要望しました。

## ・人と地域を活かす共生社会の実現

地域で暮らす一人ひとりが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的なサービスと協働して助け合いながら暮らす共生社会を実現するよう要望しました。



## 【市立南中学校体育館の改修工事に伴う工事監査】

市の財政運営が適正に行われているかをチェックする監査委員が4名います。2名は有識者、2名は議員から選出され、本年度は公明党井上議員が監査委員として選出されました。毎月の歳入歳出と預金残高を確認する毎月の月例現金出納監査、前年度決算に伴う本審査、当年度の事業を監査する定期監査、市民から請求のある住民

監査請求の審議などを行っています。書類のみの審査だけではなく、指定管理施設や市の出資団体への直接現地監査、学校の運営を直接現地で聞き取る学校監査、工事状況を現場確認する工事監査など様々なチェックを行っています。これらの視察・聞き取り内容から様々な意見を付して市長に対し講評を行います。



## 【清掃工場の開所時間延長が実現】

市民より「清掃工場の午前中開所時間を12時まで延ばしてほしい。」との相談を受けました。現在は沼上清掃工場、西ヶ谷清掃工場、清水ごみ受付センターとも開所以来11時半までの受付になっています。当初当局からは開所時間の延長は難しいとの回答でしたが、現場調査を何度も行い、当局と折衝を行った結果、平成31年1月4日から12時までの受入れが可能となりました。

## 【第13回全国市議会議長会研究フォーラム】

11月14日・15日の2日間にわたり栃木県宇都宮市で開催され参加しました。自治体が今後直面する、超高齢化、少子化社会であるいわゆる「2040年問題」について、現役世代が高齢世代を支える表現を「重量上げ化」、地方から東京へ若年層が流出する表現を「漏斗化」というわかりやすい言葉を使った基調講演が行われました。また、「議会と住民の関係性について」というテーマでパネルディスカッションも行われました。主催者教育に力を入れている新潟市議会、議員間討議の促進や市民が議場で議員に対し、市政全般に関して自由に発言機会をもうけ、その意見を申入れなどに取り入れる「市民フリースピーチ」を導入している犬山市議会など、議会改革に取り組んでいる先進自治体から多くの報告がありました。



## 【「日本平夢テラス」オープン】

11月2日、「日本平夢テラス」の開館記念式典と内覧会に参加。静岡県と静岡市が連携して建設を進めてきた名勝「日本平」の新しい施設となりました。1階は展示スペース、2階はラウンジ、3階は展望フロアになっており、展望フロアからは約200mの天望回廊が続き、富士山、南アルプス、駿河湾、三保松原など360度の眺望を楽しむことができます。オープンから1ヶ月で10万人を超える人気施設となりました。今後も市内外から多くの方が訪れることが期待されます。



## 【七間町保育園視察】

4月26日、今年度新たに開設された施設のひとつである「七間町保育園」を訪問しました。この保育園は静岡市初のマンション内に開設された保育園です。待機児童解消については公明党静岡市議会として子育て支援の柱と位置付け長い間推進をしております。4月1日現在、静岡市は待機児童ゼロを達成しましたが、今後は年度を通じての待機児童ゼロ、保育人材の確保や処遇改善、保育の質の向上など課題となっている部分に対しての政策実現が求められます。



## 【がん条例先進都市視察(神戸市)】

5月25日、平成26年度に議員提案条例として「がん条例」が制定された神戸市を視察しました。条例を制定した効果として一体的な取組、がん対策の充実、中学校におけるがん教育が高評価を受けたなどが挙げられており、条例制定による効果がさまざまな波及効果を生んでいました。比較的先行しての条例制定だったため、小児がんやAYA世代におけるがん対策が課題として浮かび上がっているようです。現在静岡市では「(仮称)がん対策推進条例」制定に向けて着々と準備が進んでいます。より一層、実効性のある条例になるよう全力で取り組んでまいります。



## 【中部横断自動車道建設現場視察】

9月10日、中部横断自動車道(富沢～六郷)の建設現場を視察しました。NEXCO区間である新清水JCT～富沢IC(2018年度開通予定)までの進捗状況を伺いました。この開通が実現すれば、中部横断自動車道の静岡県内区間は全線開通となります。山梨県側の区間は、一部開通予定時期が2019年度の予定ですが、トンネル工事の進捗状況を見極める必要があります。無事故で工事が進むことを願ってやみません。山梨県側が開通すればアクセスの向上はもちろんのこと、静岡・山梨間の交流がさらに活発になることが期待されます。



## 【模型を活用したものづくり教育の授業参観】

静岡市の地域産業である「模型」の歴史を学んで地域への愛着を深めるとともに、プラモデル作りを通して「ものづくり」への関心を高める授業が小学校でスタートしました。芳賀静岡大教授、模型メーカーの協力を得て、本年度は9校で実施予定。授業の中で「プラモデル作ったことがある人」という質問に手を挙げた児童は3割弱。初めて持つニッパーを駆使し、説明書を見ながら小さな部品を楽しく組み立て、少しずつ完成していく喜びを実感している様子でした。模型業界の方からの提言を元に、平成26年6月議会で模型を使ったものづくり教育を提案して4年。この授業が「ものづくり」の人材育成のきっかけになればと期待しております。



## 【静岡バイパス全線4車線化】

12月22日、国道1号静岡バイパスの牧ヶ谷IC～丸子IC間が4車線化され、静岡バイパス全線が4車線化されました。清水港の取扱い貨物のうち、約7割が浜松市・静岡市から輸送されており、そのうち約7割が国道1号を利用しています。静岡バイパスや清水港のコンテナターミナルの整備により、清水港を発着する港湾物流が活性化され、静岡バイパスを通行する大型車交通量が増加する見込みです。今回の全線4車線化により、さらなる港湾物流の活性化や地場産業の活性化が期待されます。